



とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1762



「梅」浄国寺

第1762回例会 平成20年3月4日

点 鐘 ... 黒田 幸一 会長

国 歌 ... 君 が 代

ロータリーソング ... 奉 仕 の 理 想

来訪ロータリアン紹介

... 親睦活動・家族委員会

会 長 挨 拶 ... 黒田 幸一 会長

御 祝 披 露 ... 黒田 幸一 会長

誕 生 祝 ... なし

結婚記念日 ... 平野 恭男 会員(3月4日)

入会記念日 ... 澤井 博 会員(2月27日)

田杭 啓信 会員(2月27日)

宮内 宗一 会員(3月1日)

幹 事 報 告 ... 石上 明宏 幹事

ニコニコBOX ... 親睦活動・家族委員会
卓 話

「リズム(旧十字屋跡地)の開発と現状」

(株)ストリーム 代表取締役社長

相馬 一郎 氏

出 席 報 告 ... 出 席 委 員 会

来週のパログラム(平成20年3月11日)

卓 話

「未定」

マレーシア大使 ダド・R,B ラジイ 氏

お食事「寿し辰」



ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

2007~2008年度 RI会長 ウィルフリッドJ.ウィルキンソン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) **真実**かどうか
- 2) みんなに**公平**か
- 3) **好意**と**友情**を深めるか
- 4) みんなの**ため**になるかどうか

第 1761 回例会(平成 20 年 2 月 26 日)

会長挨拶

黒田 幸一

今日は2月26日、皆さんご存知の2.26事件です。今から72年前の事件です。

昭和11年2月26日の未明、前夜からの雪の中で陸軍の一部決起将校が、クーデターを起こしました。岡田啓介総理官邸をはじめ、高橋是清蔵相・斎藤実内大臣・渡辺錠太郎教育総監・鈴木貫太郎侍従長・牧野伸顕前内大臣を次々と襲撃し、警視庁・陸軍省・陸軍大臣官邸・参謀本部を占拠した事件です。昭和11年ですのでご記憶のおありの先輩もいらっしゃるかと思いますが、我々年代では小説・映画・教科書を通して知りました。特に興味を持ったのは、鈴木貫太郎侍従長でした。それは、千葉県出身であること、戦前最後の総理大臣(終戦内閣)として今の日本の礎になられたことであります。鈴木貫太郎の歴史的なことではなく少しエピソードに触れてみたいと思います。

大阪府堺市中区伏見「和泉国大鳥・郡久世村・関宿藩の飛び地」で関宿藩士 鈴木由啓(ゆしたか)・きよ・の長男として生まれました。本籍は千葉県野田市「旧関宿町」関宿藩であります。幼いときから貫太郎は何度も死にそうな目にあった。3歳のとき暴走してきた馬に蹴られたり魚釣りをしていた川に落ちたり、海軍に入ってから夜の航海中に海に落ちたりしたが、その度に奇跡的に助かった。2.26事件のときは事件前夜、たか婦人と共に駐日アメリカ大使ジョセフ・グルーの招待を受けて夕食会に出席した後11時すぎに麹町三番町の侍従長官邸に帰宅した。午前5時ごろ安藤輝三陸軍大尉の指揮する一隊に襲撃されました。鈴木は三発を左足付根、左胸、左頭部に受け倒れた。血の海となった8畳間に現れた安藤大尉に下士官が「中隊長どのとどめを」と促し、安藤が軍刀を抜くと部屋の隅で兵士に押さえ込まれていた妻のたかが、大声で「おまちください」と叫び「老人ですから、とどめはやめてください。どうしても必要というなら私がいたします。」安藤大

尉は軍刀をおさめ「鈴木貫太郎閣下に敬礼をする。気をつけ捧げ銃」と号令した。妻たかに、安藤大尉は「まことにお気の毒なことをしました。我々は閣下に対して何の恨みもありませんが国家改造のためにやむをえずこうした行動をとったのであります。」と静かに語り、兵士を引き連れ官邸を引き上げていきました。その後、鈴木は自分で起き上がり「もう賊は逃げたかい」と言ったといひます。その後、出血多量で意識がなくなり一時心臓も停止したといひますが幸い三発とも急所をはずれていて奇跡的に息を吹き返したそうです。また鈴木は太平洋戦争中、ルーズベルト大統領死去の報道を知ると「私は深い哀悼の意をアメリカ国民に送るものであります。しかし、ルーズベルト氏の死によってアメリカの日本に対する戦争継続の努力が変わるとは考えておりません。」という談話を世界に発信している。ドイツのヒトラーがルーズベルトの死を罵倒したのとは対照的でありアメリカに亡命していたドイツの作家トーマス・マンは、鈴木に武士道精神を称賛した。その他にも、日露戦争から始まり海軍時代のエピソードが沢山ありますが、なんといっても軍部をまとめ終戦とした偉大な総理大臣であるということではないでしょうか。

最後になりますが、先日の第7分区インターシティーミーティングに際しまして宮内ガバナー補佐及び杉浦補佐幹事のご指導のもと会員皆様のご協力を得ましてホストクラブとして滞りなく終了することができましたこと心より感謝申し上げます。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・3月ロータリーレートのご案内 1\$ = 108円
 - ・ハイライトよねやま96号-
 - ・RYLA千葉テレビ放送についてのお知らせ 受領
- 2・ロータリーの友事務所より
 - 新会員の原稿募集依頼 受領
- 3・銚子ウエストポートライオンズクラブより
 - 創立10周年記念式典のご案内 受領
- 4・波崎RCより
 - 創立30周年記念式典のご案内 受領
- 5・地区職業奉仕委員会より
 - 特別セミナー講演会冊子 受領

卓話

「銚子市総合計画と市の歩み」

宮内 宗一 会員

会員の皆さんの中にも総計審の委員として参加された方がいらっしゃると思います。私が約30年の間、



参加出席し携わって来た銚子市総合計画審議会と、その時代の市の背景と活性化に向けての市の努力、取り組み、そして市の歩み等について私個人としての立場から申し上げます。話の途中、間違っていたところがありましたら御寛容下さい。御存知とは思いますが、総合計画審議会について少し説明させて頂きます。総合計画は、概ね次の手続きによって策定し実施します。

基本構想

策定委員会が主要課題と基本の方針を検討する、そして市長が原案を決定する。市長が原案を総合計画審議会に諮問し、その答申を得て市議会に議案提出する。市長が市議会の議決を経て、基本構想を決定する。

基本計画

策定委員会が素案を作成する。庁議に付議した後、市長が議案を決定する。原案を総合計画審議会に諮問し、その答申を得て、基本計画を決定する。市の総合的かつ基本的な計画に関する事項について調査及び審議を行う市長の諮問機関であります。

実施計画、市長が実施計画を決定する。

本市は昭和8年2月市政を施行し、恵まれた自然のもと農業魚業醸造、工業水産加工、商業等各種産業の展開によって東総地区の中核都市としての役割を果たして来ました。然し国の高度成長、千葉県工業を軸とした発展に対し、本市は半島性、袋小路という地域性から脱却出来ず、首都圏の拡大、鹿島開発、成田国際空港等周辺における状況変化の影響も十分に生かされず、飛躍的な発展がありませんでした。そこで昭和41年3月に銚子市長期計画を策定しました。計画期間は昭和41年～60年までとし、国勢県勢の発展に伴う地域格差の解消、鹿島開発の影響吸引、及び経済基盤の確立と生活基盤の充実を図り、市民生活の向上を期す、住みよい豊かな文化、産業都市を目指して発足しました。

- ・昭和41年～60年 銚子市長期計画を策定する。
- ・昭和48年～52年 第一次基本計画 経済基盤の確立、市民生活の向上をはかることを目指す。
- ・昭和53年～57年 第二次基本計画 住みよい豊

かな文化産業都市を目指す。

- ・昭和60年～75年 銚子市新総合計画設定する。
- ・昭和61年～65年 第一次基本計画 活力と魅力ある東総の中核都市を目指す。
- ・平成2年～6年 第二次基本計画 この頃になりますと国民余暇時間の増大ということからレジャー、生活に豊かさを求める様になり、魅力ある海洋性リゾートづくり目標に銚子の観光の目玉ということで、県では平成3年銚子ポートタワーと市では水産物即売センターウオッセの完成、豊かな都市づくりを目指す。平成4年2月私が会長をつとめました銚子流通港促進エネルギー産業誘致市民会議発足する。
- ・平成7年～12年 第三次基本計画 大危難活性化の目玉として、1)火力発電所の誘致と銚子流通港の整備促進及びエネルギー産業の立地促進 2)名洗港マリリゾート事業の促進と銚子漁港の整備 生き活きとした温かいまち銚子づくり、この頃は市民会議としても多数の市民の参加をいただき、全力をあげて視察、国・県に対する陳情、運動を行いました。1)2)共、開発規模や投資額も膨大であり、地域経済に与える波及効果は大きく、活性化を図るための極めて重要な事業としてとらえました。

次に私が会長をつとめました「銚子ルネッサンス2025」銚子市の将来像については、平成13年～平成37年の長期にわたる方針を決めました。基本構想「銚子ルネッサンス2025」人がときめき、海がきらめき、未来が輝くまちづくりとして生き活きとした未来づくりの決意を表しております。

- ・平成13年3月～平成17年 第一次基本計画
- 1)流通港の整備促進及びエネルギー産業の立地促進
- 2)ベンチャー企業の育成と起業家への支援
- 3)自然エネルギーの調査、研究
- 4)風力発電導入の検討推進
- 5)野球場始め既存体育施設の整備充実を目指しております。

平成16年4月、名洗港後背地に千葉科学大学が開学しました。銚子に大学をという永い間の市民の夢が実現しました。名洗地区のマリーナ及び大学の建設による港湾建設用地不足と、長期に亘る景気低迷によるところの関係各庁の予算減少と民間活力の低下により、平成17年3月、13年間運動を続けて来た市民会議解散する。この辺で名洗港を中心とした産業経済面での流れが大きく変わって来ました。

引き続いて昨年会長をつとめました平成19年～平成22年第二次基本計画について申し述べます。

信頼と絆による市民主体のまちづくりを基本理念とし、賑わいと活力を取り戻すため、未来を拓く「まちづくりの重点目標」として、1)未来を託せるひと

づくりのために 2 難もが安心して暮らせるために
3) 賑わいと活力を取り戻すために

具体的に市民生活に近い諸問題について

平成 17 年 11 月に閉店しました十字屋跡地再開発施設を核とした中心市街地の活性化対策の検討市の中心部にある旧十字屋跡地をなんとか再開発しようと駅前本通双葉町各商店街及び新生商店街等大きく落ち込み、又居住している市民も生活に大きな不便を感じております。

では十字屋跡地再開発はどうでしょうか。所有者のジャパンレジャーサービスと市は毎月 1 回会って情報交換していますが、事業の採算性の面からも今のところ検討中ですが、事業化に向けての計画はまだ策定されていないとの事です。一日も早い再開を希望します。

新たな交流拠点の創出（イオン進出予定地辺り）イオン進出については特定の企業をあげず、新たな交流拠点の創出としました。十字屋跡地の再開発とイオン進出についての共存共栄は果たして可能なのでしょうか。行政としてはイオンについて国道 126 号から県道愛宕山公園線が分岐する交差点周辺ということで、ここに広域的な商圈を対象とした商業施設や良質なアミューズメント施設としてイオンを位置付けております。

市立総合病院の存続に向けた経営改善
市民の皆さんにご迷惑をおかけしていますが銚子市一丸となって経営の建て直しに取り組んでいます。

大学を生かした地域づくり 大学のあるまちの特質を生かす地域共生大学の仕組みづくり

教育面においては興野小と若宮小との合併による双葉小学校の建設事業

市立銚子高等学校と市立銚子西高等学校を併合し、平成 20 年 4 月に開校する新校舎等を整備する。銚子電鉄を公共交通機関としての支援の検討だけでなく、観光資源としての支援策についても検討する。

地場産業の振興と銚子ブランドの確立

市民共有の財産である文化財の維持管理に努める。

財政の健全化を進めるうえで単に支出を一律カットするだけで無く、住民負担の増加を招かないような収入の増加策についても検討する。他

以上いろいろ申し上げましたが、市をとりまく周囲の状況、環境の変化は大きく変わって来ております。市の活性化に向けての努力、市の現況、総合計画審議会の審議を通じて流れは大きく変わってきているなど実感いたしました。

以上まとまりませんが、私の卓話といたします。

お 願 い

欠席される方は、遅くとも前日までに事務局へご連絡下さい。また、近隣のクラブへのメークアップを是非お願い致します。（メークアップされるクラブへ事前連絡をして下さい。）

前 回 の 例 会 (2 / 2 6) 報 告

点 鐘 黒田 幸一 会長

出席報告

会員総数	42 名	出席規定除外数	11 名
出席者	20 名	出席率	64.52 %
2月12日		確定出席率	100 %

来訪ロータリアン

宮崎裕光君 杉山俊明君 (銚子RC)

欠席者 11名

平幡君 平野君 石上(明)君 石上(新)君
木村君 宮内(勝)君 大木君 澤田君 鈴木君
山本(幸)君 吉田君

メークアップ

狩野君 (2/25 千葉科学大RAC)
平野君 (3/2 チームリーダー研修セミナー)

スモールコインBOX

小 計 ￥ 1,963 -
累 計 ￥ 63,471 -

ニコニコBOX

小 計 ￥ 6,000 -
累 計 ￥ 459,210 -

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 黒田幸一 副会長 網中吉郎 幹事 石上明宏

R . I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 宮内 博・木村貞夫・杉浦 武・四日市清・大木 忠

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。